

【資料1】松江市におけるメディアに関する取組

担当課	項目	令和6年度の取組状況	令和7年度に向けて
こども政策課	子どもの発達とメディア対策事業	「島根の子どもとメディア研究会」から専門講師の派遣を受け、市内幼児教育施設の園児、保護者、職員を対象とした研修会を25回実施した。年度初めに、より多くの幼児教育施設に本事業の活用をしてもらうためおたよりを配付し、あわせて、初めて活用する施設を優先して講師派遣を行うことの周知をした。	引き続き「島根の子どもとメディア研究会」に委託し、専門講師派遣による市内幼児教育施設での研修会を実施する。研究会から、幼児教育施設の親子を対象とした研修会の重要性を示しているので検討する。また、今年度同様に、メディアと子どもの育ち等に関する意識の向上を図るために、これまで本事業を活用されていない施設に対して活用を促していく。
	望ましいメディア接触や親子のふれあいに関する情報提供および啓発	松江市内幼児教育施設の職員向けの研修において、絵本や絵本の読み聞かせと子どもの心の関係性やデジタル端末との付き合い方についてお話をしていただいた。	訪問指導や研修を通して、絵本の読み聞かせの重要性や親子のふれあいの大切さ、メディアとの上手なつきあい方等の啓発を進める。
こども家庭支援課	乳幼児健診等を活用した現状把握及び啓発	○集団乳幼児健診を活用した保健師による個別相談 【参考】3歳児が電子機器を「使う」と回答した保護者の割合（乳幼児健診問診票より） 《H28》33.9% 《R2》42.0% 《R4》44.7% 《R5》47.7% 《R6.11月末》45.0% ○健診時のチラシ配布やポスター掲示等によるメディアとの付き合い方に関する周知啓発 ○メディアに関する学習会及び研修会の開催 ①開催日：令和6年8月21日（水） 講師：島根の子どもとメディア研究会 伊藤紀子会長 テーマ：「スマホと子育て ～一緒に考えませんか～」 参加者：子育て支援センター利用者、民生委員、保健師 ②開催日：令和6年11月27日（水） 講師：ぼよぼよクリニック 田草 雄一院長 テーマ：「わが子にスマホを持たせる前に！ 幼児期の保護者にお伝えしたいこと」 参加者：乳幼児健診従事スタッフ、保健師、メディア推進員	引き続き、チラシ配布等による啓発や個別の助言を行うとともに学習会や研修会を開催し、メディアに関する保護者や支援者の意識を高める。
	ブックスタート事業	○4か月児健診の際に、絵本の読み聞かせ体験と絵本の配布を行い、スマホではなく絵本に触れながら親子の時間を過ごすことを啓発している。 ○配布チラシに「スマホに子守をさせないで」（日本小児科医会）や「絵本読み聞かせが脳へ与える影響」等の情報を掲載している。	引き続き、絵本の読み聞かせ等を通じて、親子の触れ合いやコミュニケーションの大切さを周知啓発する。
	読書や子育てに関する情報発信	○子育て支援センターにおいて、親子（0～3歳）を対象とした「読みきかせの会」を開催している（年4回）。 ○乳幼児期の保護者に向け、X（ツイッター）やチラシ、母子手帳アプリ（母子モ）等を活用し子育てに関する様々な情報を発信している。	様々なイベントやアプリ等を活用し、タイムリーな情報発信を継続する。
学校教育課	小学校でのメディア学習	小学校28校で実施。（希望しない学校は4校で昨年度より2校増加）小学校からの実施希望229時間に対し197時間の実施を実施。題材一覧【資料1－1】を主に、各学校と打合せを行い、子どもたちの実態に応じて内容を検討したうえで授業を実施した。学校側からは推進員による授業は効果的という評価を得ている。	希望しない学校は増加したものの、独自に講師を招きメディア教育を進める取組を行う学校もあった。こどもたちの現状を見ると、時代に合わせた内容の見直しに着手しながらメディア学習推進によるメディア学習を継続していきたい。
	児童生徒の状況及び学校の取組状況の調査	7月～8月にかけメディアに関する情報交換シートによる調査(前回資料)を行った。取りまとめた結果を各校に配布し課題等の共有を図った。12月～1月にかけメディアに関する取組状況調査により、児童生徒の状況、学校の取組状況を調査。回答は小中高50校（大野原分校は小・中別に回答）【資料1－2】	来年度も「情報交換」と「取組状況」に関する調査を行っていきたい。調査した結果、特に効果的な取り組みを積極的に情報提供する機会を設けていきたい。
	(新規) GIGAワークブックの活用	現在GIGAワークブックについては全学校・全教職員が閲覧できるように、全体共有フォルダに保存している（GIGAワークブックまつえ版）。2学期当初、全中学・高校にGIGAワークブックの活用を推進するために校内研修の実施依頼を行った。中学2校でメディア学習推進員の協力を得ながら、模擬授業などを取り入れ校内研修を実施した。今年度の活用状況は低く、より活用を推進していくための手立ての再考が必要である。	GIGAワークブックは指導内容のコンテンツを追加・更新するなど、指導内容も広がってきてている。各校で活用を図るために、研修の実施を進める。LINEみらい財団ではオンラインでの研修を実施しており、より多くの先生方に研修をしていただき、活用の底辺を広げていきたい。

【裏面へ】

メディア教育研修会 ・講演会	今度氏を講師として、教職員研修会、保護者向け講演会を行った。デジタルシティズンシップ教育についての理解を深めるうえで有効であった。教職員研修会参加者に学校内での研修内容の周知を依頼した。	令和7年度についても、メディア教育について、時代に即した視点をあてた研修会・講演会の実施をしていく。
スマホサミット	【資料1－3】湖東中学校で昨年度より校内リーダー研修会が取り組まれていたが、12月に全学級で一斉に「メディアとの関わり方について～クラスで目標をたてよう～」をテーマに学級活動が行われた。また、美保関公民館が主催であったが、小学6年生中学1年生の合同で人権教育に重きを置いたメディア学習を実施した。内容的に児童・生徒が主体的に考える場を作る機会が少なく、内容について課題を残した。	令和7年度に向けても、各校にこの取り組みの意義を伝えながら、実践を希望する学校を募っていく。一方で、よりこの取組に広がりができるよう、あり方の検討を進めていく。

